

マスターフレックス L/S シリーズ  
イージーロードポンプヘッド

07516-00/02 シリーズ

07516-10/12 シリーズ

取扱説明書

第 1 版



## はじめに

イーザーロードポンプヘッドはレバー操作のみでチューブの着脱が可能な機構を有しており、標準ポンプヘッドと比較してチューブ着脱の作業時間を大幅に短縮する事が出来ます。

偏芯カムによりレバーの回転力をチューブの締付け/解除を行う occlusion bed(チューブ押え部)の上下動に変換する機構となっています。

またチューブの着脱に際してヘッドを取り外す必要もありません。

イーザーロードポンプヘッドを取り付けたマスターフレックスポンプシステムは自吸式ポンプとなります。

一つのローラーが常にチューブを潰している為、停止時にサイフォン現象等で逆流する事はありません。

ボディ材質は強度があり耐熱/耐薬品性に優れた【ポリフェニレンサルファイド(PPS)】を採用しています。

## 1. ポンプヘッド取付方法

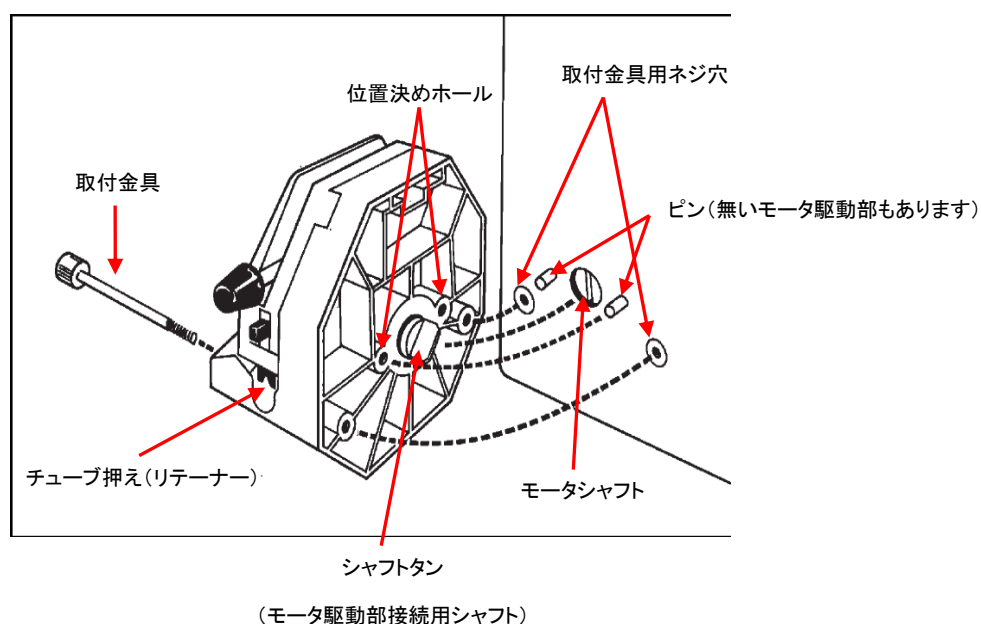
【注】ポンプヘッドに装着するチューブは、マスターフレックスポンプ専用品をご使用下さい。

他のチューブをご使用になられた場合性能の保証は致しかねます。

また最悪破損・液漏れ等の恐れもございますので、純正品をご使用下さい。

1) モータ駆動部に付属の取付金具 2 本でポンプヘッドを取り付けて下さい。

ヘッドにはマウンティングホールが空いていますので、モータ駆動部側にピンが付いている型式はピンがヘッドの位置決めホールに入る位置に調整して下さい。



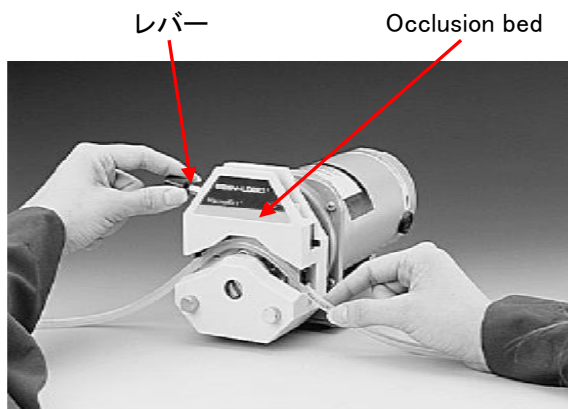
## 警告



必ずモータ駆動部の電源を切った状態で取付を行って下さい。

2) 両側の黒い樹脂材のチューブ押え(リテーナー)を内側に押しながら一番上まで一旦上げて下さい。  
レバーを左側に倒し occlusion bed(チューブ押え部)が最も上がった状態にし、チューブをロータに掛けて下さい。

チューブには巻癖が付いていますので、ロータのアールに巻癖の曲がり方向を合わせるようにして、無理に曲げずにロータに載せて下さい。



3) 左右下側に軽くチューブを引いて少しチューブをなじませ、ロータ内のローラー中央部にチューブが位置している事を確認してから、レバーを 180° 右側に倒しチューブを挟みこんで下さい。

チューブを外す場合はレバーを左側に 180° 倒して occlusion bed(チューブ押え部)を持ち上げてチューブを外します。



4)チューブ押え(リテーナー)を下ろしてチューブを固定して下さい。

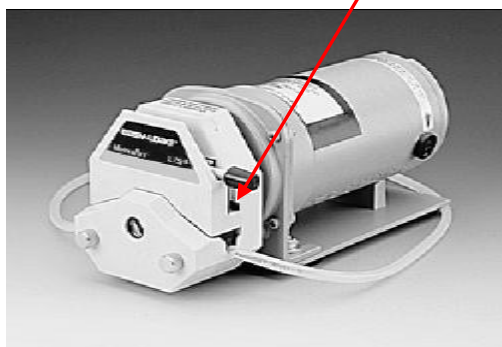
片側ずつチューブをごく軽く引いた状態でリテーナーを下ろして下さい。

リテーナーはチューブが軽く潰れる程度まで下ろして戴く事でチューブを確実に固定致します。

固定が弱いとチューブがロータ内に巻き込まれたわみによってロータと擦れる事で外壁から破損する恐れがあります。

チューブが軽く潰れるまでリテーナーを下ろしますと使用中にチューブ外壁がリテーナーにより若干跡が付きますが、この状態はチューブ寿命には影響致しません。

リテーナー



#### 注 意



チューブを交換する際やチューブの取付位置をずらす際には、モータ駆動部は必ず電源を切ってから作業を行って下さい。

またご使用状況によってロータに取り付けられたローラーの表面を定期的に確認し、チューブ材質や油分などが付着している場合は清浄な布等で拭き掃除を行うようにして下さい。

尚、チューブのサイズや材質・モータ駆動部の回転数設定や流体の内圧により、使用を続けているとリテーナーの押えが弱い時と同じようにロータ内にチューブが巻き込まれて行くクリープ現象が発生する場合があります。その際には下記の手順でチューブ固定の再調整を行って下さい。

### リテーナーの調整手順(クリープ現象の対策)

①モータ駆動部の電源を切り、レバーを左へ倒して occlusion bed (チューブ押え部)を完全に上げて下さい。

②リテーナーを一旦上げて下さい。

その際リテーナーの元の位置を覚えておいて下さい。

③チューブ両端を軽く左右下側に2~3度引き、チューブの張りを回復して下さい。

④上げていたリテーナーを再び下げて下さい。

その際元の位置より1ノッチ分下に下げて下さい。

⑤クリープ現象が続く場合には再度①~④を行って下さい。

再度行っても解消しない場合、

- ・流体内圧が高過ぎないか。
- ・ローラーが汚れていないか。

等をご確認下さい。

それでも解消しない場合は、ご購入戴きました販売窓口担当者又はお客様総合サービスセンター(フリーダイヤル 0120-405-525)にご相談下さい。

### 注 意



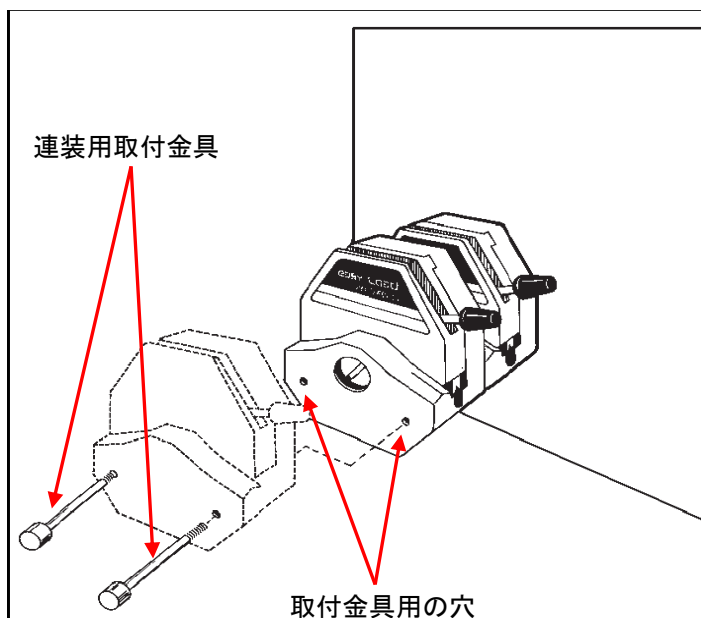
チューブのたわみはロータとの摺れを起こす要因となり、チューブのはみ出しや過度な摩耗によるチューブ破損が発生する可能性があります。

チューブのヘッド取り付け部を定期的に監視し、摩耗や復元力の低下(潰れの形が付いたままになってしまう状態等)の兆候が現れましたら、チューブのヘッド取り付け部をずらして未取付部分をロータ内に移動して再度取付け直して下さい。

## 2. ポンプヘッド連装取り付け方法

【注】ヘッドを2個以上連装する場合には、標準外付属品の取付数に見合った連装用取付金具を別途ご購入下さい。

- 1) モータ駆動部の取付金具用の穴に連装用取付金具のシャフト2本をねじ込んで下さい。
- 2) ヘッド本体を2本の連装用取付金具に差し込んで下さい。  
2個目以降のヘッドを取り付けて行く際には、前に取り付けられているヘッドの凹部に次に取り付けるヘッドの凸部の位置を合わせて差し込んで下さい。
- 3) 連装用取付金具に付属されている平ワッシャーと蝶ナットを使用して、手で締め付けて下さい。  
ペンチ等の工具で強く締め付けますとヘッドを破損する恐れがありますので、工具は使用しないで下さい。  
下図の連装用取付金具はソケットになっておりますが、実物は金具のシャフト両端は 8-32 インチオネジとなっており、平ワッシャーと蝶ナットが付属されております。



【注】ポンプヘッドの最大連装取付数は、モータ駆動部のトルクに依存します。

モータ駆動部のヘッド最大連装取付数は取扱説明書或いは弊社総合カタログ等をご参照下さい。

### ■標準/イージーロードポンプヘッド 連装用取付金具(※4本/1組・SUS製)

ポンプヘッド取付数	イージーロードポンプヘッド(鉄製)	イージーロードポンプヘッド(SUS製)
		07516-00/02 型
1	07013-04(商品コード:07013-04)※標準付属品につき、予備用となります。	
2	07013-05(商品コード:243732)	
3	07013-08(商品コード:243734)	
4	07013-09(商品コード:243736)	

※標準ポンプヘッドとイージーロードポンプヘッドの連装用取付金具は共用となっております。

その為標準ポンプヘッドに合わせて金具は4本/1組となっておりますが、イージーロードポンプヘッドでの使用数は2本となります。

## 保守・点検

イーザーロードポンプヘッドのベアリングは注油する事が出来ません。

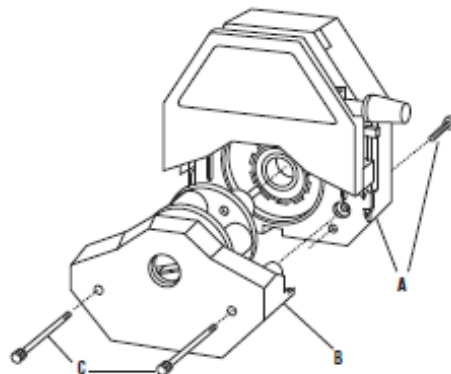
老朽化等で劣化した場合には下記の表をご参照戴き、適宜部品の交換をお願い致します。

A.メインボディアッセンブリー(チューブ押え部及びバックプレート/ロータ後部ベアリングのセット)

適合ヘッド型式	メインボディアッセンブリー型式
07516-00/07516-02	07516-07
07516-10/07516-12	07516-17

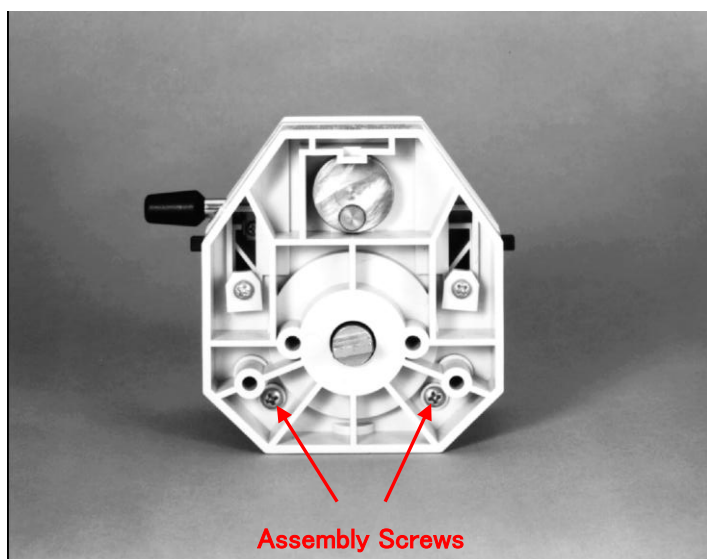
B.ロータ/ベアリングサポートアッセンブリー

適合ヘッド型式	メインボディアッセンブリー型式
07516-00	07516-08
07516-02	07516-09
07516-10	07516-18
07516-12	07516-19



※C.は前ページ連装用取付金具の表をご参照下さい。

ポンプヘッドの清掃や部品交換の為に分解する場合は、下図 2 本の Assembly Screws をドライバーで外して下さい。



## 仕 様

品名	イージーロードポンプヘッド (薄肉チューブ用)		イージーロードポンプヘッド (厚肉チューブ用)	
型式	07516-00	07516-10	07516-02	07516-12
ロータ/ローラー材質	鉄(CRS)	ステンレス(SUS)	鉄(CRS)	ステンレス(SUS)
適合チューブ型式(L/S)	13/14/16/25/17/18		15/24	
ローラーの数	3			
ポンプヘッドケース材質	ポリフェニレンサルファイド(PPS)			
使用環境温度範囲	0~40℃			
保管環境温度範囲	-45~+65℃			
使用環境湿度範囲	0~90%RH(但し結露なき事)			
外形寸法	幅 116×奥行 56×高さ 102(148)mm ※()内は occlusion bed を上げた状態			
重量	約 450g(取付金具を除く)			
ノイズレベル	<70dBA@1メートル			

※流体許容温度はチューブ材質に依存致しますので、弊社総合カタログをご参照下さい。

※適合チューブ型式の詳細は、弊社総合カタログをご参照下さい。



## 保証

最高の性能を発揮させるために、マスターフレックスポンプには、必ずマスターフレックス専用のチューブをお使い下さい。これ以外のチューブをご使用になられた場合は、保証を受けられません。

本製品は公表している仕様と著しく相違ないことを保証します。保証期間内に修理または調整が必要になったときは、当社の判断によりお客様の誤用または乱用に起因するものでないと判断された時は無償で修理いたします。保証期間終了後または製品の誤用や乱用により生じた修理費用は、お客様の負担になります。

本製品の保証期間は保証カードに記載しています。

保証期間でも、次のような場合は保証が適用されませんので、ご了承ください。

- (1) お取扱いが適正でないために生じた故障
- (2) 据え付け後、他へ移動または輸送されたために生じた故障
- (3) 天災その他不可抗力によって生じた故障
- (4) 不当に修理したり、改造された故障
- (5) 機種毎に指定する消耗品、定期交換部品
- (6) 音、振動等機能上影響のない単なる感覚的現象
- (7) 本機が使用できなかったことによる不便さおよび損失など
- (8) 保証書のない場合または保証書のご提示がない場合

## 製品の返送

保証期間中、保証期間終了後を問わず、無駄な費用や作業の遅れを防ぐ為に本製品を返送する前に販売店または当社からの承認と発送に関する指示を受けて下さい。本製品を返送する際は、その理由を明示して下さい。お客様の費用負担を防ぐ為に製品は丁寧に梱包し、損傷や紛失の保険をかけてください。梱包不良により生じた損傷は、すべてお客様の負担になります。

## 技術援助

本製品の使用に関してご不明な点があるときは、当社または販売店へご連絡ください。